

承認番号	4077
研究課題名	免疫抑制剤を代謝拮抗薬からエベロリムスへ変更した腎移植症例の臨床的検討
研究の意義・目的	維持期（移植後3ヶ月以降）の腎移植症例で代謝拮抗薬をエベロリムスへ変更し、カルシニューリン阻害剤を最小化した免疫抑制療法1年後の成績について研究を行った（承認番号3383）。今回は、長期的予後について後ろ向きに検討する。
研究期間	承認後 ～ 2030年3月31日（西暦）
研究対象者の範囲	2012年6月1日から2028年3月31日の間において大阪市立大学医学部附属病院の泌尿器科の腎移植外来通院中で、腎移植維持期に代謝拮抗薬からエベロリムス変更された患者さまが対象です。
利用又は提供する試料・情報の項目	血液検査、尿検査、診療記録
利用者の範囲	<input checked="" type="checkbox"/> 自施設のみ <input type="checkbox"/> 共同研究機関に試料・情報を提供する <input type="checkbox"/> 共同研究機関から試料・情報の提供を受ける <input type="checkbox"/> 自施設が共同研究の代表施設である <input type="checkbox"/> 他施設が共同研究の代表施設である <input type="checkbox"/> 研究成果を公表する
研究機関の情報	大阪市立大学大学院医学研究科泌尿器病態学 准教授 内田 潤次
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	大阪市立大学大学院医学研究科泌尿器病態学 准教授 内田 潤次
拒否機会の保障	本研究の対象者の方は、問い合わせ先に連絡することによっていつでも本研究への参加を拒否することができます。また、研究への参加を拒否されても、診療に関する不利益等を受けることは一切ありません。
拒否を受け付ける方法	電話対応（電話番号：06-6645-3857 担当者：大阪市立大学大学院医学研究科泌尿器病態学 准教授 内田 潤次）